

研究所だより

令和3年度 第1号

令和3年 6月17日

室蘭市教育研究所

TEL 22-5059

ごあいさつ

室蘭市教育研究所長 高田 裕之

昨年度は、一カ月を超える全国一斉の臨時休業がありました。当たり前のように存在していた学校に通えない状況が続いた中で、学校は、学習機会と学力を保障するという役割のみならず、全人的な成長を保障する役割や、人と安全・安心につながるができるセーフティネットとしての役割も担っていることが再認識されました。

国は、2020年代を通じて実現を目指す学校教育を「令和の日本型学校教育」とし、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させ、「主体的・対話的で深い学び」の授業へ向け、そのためにICTは必要不可欠としています。また、教育機会確保法が成立しており、学校に通うことができない子どもたちへの学習機会の保障と「学校に登校する」という結果を目標にせず「社会的な自立」を目指さなければなりません。

当研究所といたしましては、授業づくりグループとICT活用グループにおいて、実践的な研究を進めるとともに、計画的にChromebookやアプリに関するオンデマンドを配信し、令和における「スタンダード」としてのICTを活用した授業づくりを、サポートしてまいります。

次に、教育相談部におきましては、学校適応指導教室「くじらん教室」が、不登校の子どもたちの学校復帰のみを目標とせず、社会的な自立のため、これまで以上に相談支援が受けやすくなるよう、名称を「教育サポートセンターくじらん」に変更しました。子どもたちと保護者の悩み相談や学校復帰まで、学校と連携を図り支援に努めてまいります。

これから大切になることは、「個別最適な学び」が「孤立した学び」に陥らないようにすること。そして、これまでも重視されてきた「協働的な学び」を充実することです。人との関わりは社会を形成していく上での基盤であり、話合いや実験、地域との交流等、様々な場面で、リアルな体験を通じて学ぶことが重要です。なお、ICTはツールとして最大限活用していく必要がありますが、その活用自体が目的でないことに留意が必要です。

結びになりますが、今の子どもたちが、成人して社会で活躍する頃には、絶え間ない技術革新により雇用環境が大きく変化するなど、「厳しい挑戦の時代」を迎えると予想されています。目の前の事象から解決すべき課題を見出し、主体的に考え、協働的に議論し、納得解を生み出していく力が、一層求められていると言えます。

今後も、皆様方からのご意見をいただきながら、「室蘭市の教育水準の向上に資する」教育研究所としての役割を果たしていけるよう、努力してまいりますので、ご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

◆所員会議・グループ会議の予定

第1回	4月20日(火)	市役所会議室	第5回	9月7日(火)	オンデマンド
第2回	5月21日(金)	オンライン	第6回	10月6日(水)	オンライン
第3回	7月9日(金)	オンデマンド	第7回	12月7日(火)	オンデマンド
第4回	8月25日(水)	オンライン	第8回	2月18日(金)	市役所会議室

◆今年度の研修講座等は、現在計画中です

◆室蘭市研究指定公開研究会の予定

研究指定	期日	学校
パイロットスクール事業研究指定校	11月9日(火)	室蘭市立翔陽中学校
	11月17日(水)	室蘭市立地球岬小学校
学力向上事業研究奨励校	11月16日(火)	室蘭市立東明中学校
	12月3日(金)	室蘭市立みなと小学校

◆室蘭市教育研究所ホームページ情報

《トップページ編》

- 1 教職員用書籍の紹介 「GIGA スクールはじめて日記」「学校アップデート」
- 2 ICT活用のための研修動画クリップ (各アプリケーション等のガイドランス)

①Gドライブ ②Office スイート ③Google フォーム ④Google ジャムボード ⑤Google クラスルーム ⑥Chromebook 端末 ⑦室蘭市クラウド活用ガイドライン ⑧Google ミート (今後の予定) ⑨YouTube I ⑩YouTube II

《ICT関係リンク集》 GIGA スクール関連

- 1 文部科学省 各教科等の指導におけるICTの効果的な活用に関する動画解説 等
- 2 北海道教育委員会研修資料